

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部 政策推進課	担当課長名	齋藤 芳朗
(※)第2期実施計画の事業名	みんなで作るまち推進会議事業	財務会計上の事業名	委員報酬事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6011 1	財務会計上の短縮番号	105
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち	
	節	第1節開かれた市政の推進	
	項目	項目1市民参画の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市民、市議会、執行機関等との協働によるまちづくりを進める。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、市議会、執行機関等
事業の手段・方法 (どのように)	みんなで作るまち推進会議の意見を取り入れながら、協働のまちづくりの仕組みづくりを行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市みんなで作るまちの基本条例 第22条

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26	
事業費(千円)	224	316	0	447	0.0%	
主な内訳	224	316	0	447	0.0%	
人件費(人・千円)	0.29 2,262	0.27 2,106	0.24 1,824	0.22 1,628	88.9%	
内訳	正職員	0.29 2,262	0.27 2,106	0.24 1,824	0.22 1,628	88.9%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	2,486	2,422	1,824	2,075	75.3%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	2,486	2,422	1,824	2,075	75.3%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	受益者負担を伴う事業ではないため。					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	企画・立案等の市政運営に関わる事務のため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	みんなで作るまち推進会議開催		2	3	0	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	会議の設置以降、地域分権制度等により協働のまちづくりについてはある程度認識が深まった。平成27年度は、7月の委員任期終了に伴い、今後の運営方針について検討を行った。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	今後のみんなで作るまち推進会議のあり方について、会議における問題点(会議のテーマ・内容・委員構成)を整理した上で、より効率的・効果的な運営方法を決定していく必要がある。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	会議の目的を具体化させるため、平成25年度に市長から諮問し、平成26年度に答申を受ける形に変更。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	会議のあり方を見直した上で、新たな会議運営方法を決定する。	
現在抱える課題と対策	課 題	みんなで作るまち推進会議のあり方(開催頻度や内容等)について見直す余地がある。
	対 策	平成27年度における検討をもとに、課題・意見等を整理し、会議運営方法の改定案を作成、新たな運営方法を決定する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	会議の目的である「池田市みんなで作るまちの基本条例の趣旨に沿ったまちづくりの推進」のため、会議のあり方を見直した上で今後も適切に運営していく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室 広報広聴課		担当課長名	乾 正澄
(※)第2期実施計画の事業名	広報誌等発行事業		財務会計上の事業名	広報誌等発行事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6012	1	財務会計上の短縮番号	335
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち		
	節	第1節開かれた市政の推進		
	項目	項目2広報機能の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市政やまちの話題を広く提供し、市政への理解と市民参加を促進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	「広報いけだ」「グラフいけだ」「暮らしの便利帳」の発行、記者クラブへの記事提供など。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 25 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		19,188		19,566		20,402		20,600		104.3%
主な内訳	印刷製本費	14,187		15,068		16,172		16,000		107.3%
	配布委託料	3,917		3,578		3,751		4,121		104.8%
	機器借上料	463		320		479		479		149.7%
人件費(人・千円)		3.00	23,400	3.00	23,400	2.80	21,280	2.65	17,310	93.3%
内訳	正職員	3.00	23,400	3.00	23,400	2.80	21,280	2.15	15,910	93.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0	0.50	1,400	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		42,588		42,966		41,682		37,910		97.0%
財源	国・府支出金	674		847		359		727		42.4%
	地方債									-
	その他(広報誌広告料)	3,071		3,583		3,240		3,499		90.4%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	15,663		15,136		16,803		16,374		111.0%
一般財源比率 C÷A		36.8%		35.2%		40.3%		43.2%		114.4%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	広報誌等の印刷及び配布を委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	広報誌の編集作業
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	職員による広報誌の編集作業が専門職化しているが、アウトソーシングすることで異動などがあっても一定水準のものを安定して発行できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「広報いけだ」の発行	回	13	13	14	13	13	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「グラフいけだ」の発行	回	0	0	2	0	1	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「暮らしの便利帳」の発行	回	0	0	0	1	1	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	新聞社への記事提供	回	114	120	95	100	100	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		記事提供については、自社の写真しか使わない新聞社が増えていることから記者が実際に現場で取材しないと記事にならないため、事前の口頭やメールなどによるロビー活動的な要素が増えている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	広報誌では誌面の企画などにさらなる工夫をすることで効果的な広報効果を得られる。グラフいけだも常に使える工夫が必要。記事提供については記者との友好な関係を築くことで掲載率が向上する。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市政情報を幅広く多くの方に届けるために、継続して実施すべき事業である。	
現在抱える課題と対策	課 題	いかにして多くの市民に読んでもらえるかが課題である。
	対 策	さまざまな年代の目線に立った広報誌の作成に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	外部委託の検討も進めながら、年代、性別にとらわれず、多くの市民に読んでもらえるような広報誌記事の作成に努める。また、定期的に「暮らしの便利帳」を改訂していく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室 広報広聴課		担当課長名	乾 正澄	
(※)第2期実施計画の事業名	声の広報作成事業		財務会計上の事業名	声の広報作成事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6012	4	財務会計上の短縮番号	350	
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち			
	節	第1節開かれた市政の推進			
	項目	項目2広報機能の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	広報誌を読むことのできない視覚障がい者に対して、広報いけだの録音版を提供し、そのニーズに応える。
事業の対象(誰を、何を)	1・2級の視覚障がい者
事業の手段・方法(どのように)	声の広報(録音版「広報いけだ」)作成・配布
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 4 年度～ <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	障害者自立支援法の地域生活支援事業

2 事業費等

区 分	25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (予算)		H27/H26	
事業費(千円)	589		495		432		432		87.3%	
主な内訳	声の広報委託料		589		495		432		87.3%	
									-	
人件費(人・千円)	0.10	780	0.10	780	0.10	760	0.10	740	100.0%	
内訳	正職員	0.10	780	0.10	780	0.10	760	0.10	740	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A	1,369		1,275		1,192		1,172		93.5%	
財源	国・府支出金	252		183		359		217		196.2%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,116		904		833		955		92.1%	
一般財源比率 C÷A	81.5%		70.9%		69.9%		81.5%		98.6%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (協働)
上記の内容	読み原稿は広報広聴課で作成、録音等の作業はすべて委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度 (実績)	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)	28 年度 (予定)	目標値 (H30)
				指 標	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	録音版「広報いけだ」の発行	回	12
値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市ホームページへの音声版広報	回	12	12	12	12	12
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	「池田声の図書」と協働することで、利用者がカセットテープからデジター版への移行のきっかけになるなど良い点はあったが、委託先が小規模団体のため、ほかの冊子の音声版ができないなどの課題点がある。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	カセットテープで提供している方がいるため、読み原稿の作り方や記事の分量などに配慮が必要で、より一層記事の精査を進める必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	製作者を市内のボランティアグループ「池田声の図書」に変更し、協働で声の広報を作成している。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市政情報を幅広く多くの方に届けるために、継続して実施すべき事業である。	
現在抱える課題とその対策	課 題	記録媒体のカセットテープからデジタル版への変更(テープ録音は時間がかかるとともに、カセットテープ自体がすでに製造を縮小している)。
	対 策	現在の利用者は数名であるため、デジター版への変更を働きかける。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後も機材の普及状況を勘案しながら、幅広い市政情報の提供に努める。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室 広報広聴課		担当課長名	乾 正澄
(※)第2期実施計画の事業名	まちづくり出前講座事業		財務会計上の事業名	まちづくり出前講座事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6012	5	財務会計上の短縮番号	350
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち		
	節	第1節開かれた市政の推進		
	項目	項目2広報機能の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市政全般にわたる市民の理解を深め、市民と市の協働によるまちづくりを一層促進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	市職員が地域に出向き、市の制度や計画、実施事業等地域の実情に即した広報活動を展開
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 19 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市まちづくり出前講座実施要綱

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26	
事業費(千円)	0	0	0	0	-	
主な内訳						
人件費(人・千円)	0.10 780	0.10 780	0.10 760	0.15 1,110	100.0%	
内訳	正職員	0.10 780	0.10 780	0.10 760	0.15 1,110	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	780	780	760	1,110	97.4%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B				-	
	一般財源 C	780	780	780	1,110	100.0%
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	102.6%	100.0%	102.6%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 (協働)
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	出前講座の講師
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (簡略化)
上記の内容	出前講座の内容が行政に関するものは職員でなければ難しい。但し内容によっては専門的知識を有する講師を招致することは可能。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	開催回数	回	7	16	21	20	20
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加人数	人	270	620	940	700	700
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	講座のメニューに入っていないものでも各課で対応できるものなら開催してもらうなど、市民が受講しやすいようにしているため、概ね良好である。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	予算がない事業のため、出前講座への派遣は市職員というのが現状。そのため、どこまで市民の要望に応じられているのか正確に判断できない。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	消費生活センターや歴史民俗資料館などが単独で実施していた出前講座などを包括した。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	「池田市みんなで作るまちの基本条例」や「池田市地域分権の推進に関する条例」をはじめ、本市の取り組みに関する啓発推進にむけ、実施すべき事業である。	
現在抱える課題とその対策	課 題	各課による積極的な情報発信。
	対 策	実施回数、参加回数はともに増加傾向にあり、今後も市民により身近に市役所を感じてもらうとともに、まちづくりに対する興味や理解を深めていただく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市民により身近に市役所を感じてもらうとともに、まちづくりに対する興味や理解を深めていただくことは、市民との協働のまちづくりを推進する上で必要不可欠と考える。今後も市民が求めるメニューに柔軟に対応できるよう、各担当に働きかける。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室 秘書課		担当課長名	高木 勝治	
(※)第2期実施計画の事業名	コミュニTEAトーク		財務会計上の事業名		
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6013	1	財務会計上の短縮番号		
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち			
	節	第1節開かれた市政の推進			
	項目	項目3広聴機能の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市民の声を聞き、市民に広く市政への関心を深めていただく。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	月1回自由参加で開催。市長と市民が直接対話できる機会を設定すること。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 7 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)										-
主な内訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.54	2,532	0.57	2,766	0.57	2,732	0.57	2,698	100.0%
内訳	正職員	0.14	1,092	0.17	1,326	0.17	1,292	0.17	1,258	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.40	1,440	0.40	1,440	0.40	1,440	0.40	1,440	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,532		2,766		2,732		2,698		98.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,532		2,766		2,732		2,698		98.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	コスト削減できる可能性もあるが、委託に要する手続きや効果等を鑑みると効果は少ないと思われる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	72	135	83	150	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				開催回数が少なかったため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		市長の就退任に伴い、手法や場所の改善を行ったところ。
平成28年度の取組(平成27年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		一定の成果を得られており、平成28年度も同内容を継続して実施する。
現在抱える課題と対策	課 題	毎回参加される市民が多く見受けられ、初めて参加される市民が少ない。
	対 策	広報誌などで周知を行っているが、多くの市民が参加できるよう今後も周知徹底していきたい。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		市民とより身近な対話の機会をとうことで開催している。市長の意向に基づきながら検討していく。

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室広報広聴課		担当課長名	乾正澄
(※)第2期実施計画の事業名	市民相談事業		財務会計上の事業名	市民相談事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6013	2・3	財務会計上の短縮番号	200
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち		
	節	第1節開かれた市政の推進		
	項目	項目3広聴機能の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	各種相談を通じて市民の声を聴き、適正・迅速に処理することで市民ニーズに応える。あわせて今後の行政事務に反映する。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	相談内容を聴き、市で解決できるものは担当部局と連携し、解決を図る。その他については、適切な機関を紹介。民事については広報広聴課で実施している専門相談を利用してもらう。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 24 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(決算)		28年度(予算)		H27/H26	
事業費(千円)	1,548		1,530		1,532		1,594		100.1%	
主な内訳	法律相談委託料	1,522	1,504	1,504	1,504	1,566	8	8	100.0%	
	負担金	6	6	8	8	0	0	0	0.0%	
	消耗品費	20	20	20	20	0	0	0	0.0%	
人件費(人・千円)	5.10	15,820	3.00	12,060	3.00	12,000	3.60	14,100	100.0%	
内訳	正職員	0.30	2,340	0.30	2,340	0.30	2,280	0.30	2,220	100.0%
	再任用短時間勤務職員	2.80	10,080	2.70	9,720	2.70	9,720	3.30	11,880	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	2.00	3,400		0		0		0	-
支出合計 A	17,368		13,590		13,532		15,694		99.6%	
財源	国・府支出金								-	
	地方債								-	
	その他()				150		170		-	
	うち受益者負担 B				150		170		-	
一般財源 C	17,368		13,590		13,382		15,524		98.5%	
一般財源比率 C÷A	100.0%		100.0%		98.9%		98.9%		-	
受益者負担率 B÷A					1.1%		1.1%		-	
受益者負担の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 27年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	平成27年度より、複写機等使用料を受益者負担としている(平成26年度まで情報公開事業に充当)。									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	毎週火曜日、大阪弁護士会所属弁護士による市民向け法律相談会を開催。専門的な法律相談を継続的に受け付けることは原則、弁護士でなければ不可能。市民は無料で弁護士に相談できる機会が得られる。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市役所であればプライバシーを守ってもらえるという安心感から、相談者の中に対応する我々職員が、民間委託業者ではないことを確認される方がいる。相談内容を解決するため保有する個人情報に踏み込むことがあるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値(H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	法律相談の利用	人	335	330	321	350	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	その他専門相談の利用	人	260	250	222	440	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	一般相談者(窓口等)	人	6,343	3,938	2,909	3000	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	法律相談等専門相談は大変好評であり、受付人数を越える応募がある。また、過去の間合せに対する回答データの集積が、新たな相談に回答するうえで指針となっている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	相談件数は、コントロールできるものではないが、一般相談者数が減少しているのは、それだけ各担当課において解決されているためと考える。ただ、同一の相談内容で繰り返し相談にこられる方、長時間相談される方が目立つ。法律相談委託料は大阪弁護士会が定める基準に基づく金額であり、一般的な法律相談費用に比べ安価である。(近隣市と同基準)						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	多様化する市民ニーズに対応するため、H27.9月より専門相談の一つとして「宅建相談」を追加。	
現在抱える課題とその対策	課 題	相談内容が複雑化しており、1部署で解決できないものが増えてきている。また民・民の問題であるにも関わらず、市の介入を求める相談も増加している。
	対 策	複雑な相談内容については、相談者の真意を確認し、相談内容を精査して担当課に回答をお願いしていく。各種相談を通じて得た市民の声・知識を庁内(職員)に対して発信し、各課における業務改善につなげていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	複雑化する社会において、人々は多くの悩みや不安をいだいている。そのような人たちの相談に適切に対応することは行政の責務の一つであり、そこから行政が現状を認識し業務の改善を図ることもできる。また、すぐには無理でも、1階の市民相談窓口の復活についても検討していきたいところ。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室広報広聴課		担当課長名	乾正澄
(※)第2期実施計画の事業名	情報公開事業		財務会計上の事業名	情報公開事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6014	1	財務会計上の短縮番号	175
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち		
	節	第1節開かれた市政の推進		
	項目	項目4情報公開などの充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	個人情報に注意しながら市の保有する情報の開示を行い、より公正で開かれた市政を実現することにより市民と市の信頼関係を深める。
事業の対象 (誰を、何を)	市民(市の保有する個人情報及び行政文書)
事業の手段・方法 (どのように)	池田市情報公開条例に基づき情報公開を実施。池田市個人情報保護条例に基づき個人情報の開示を実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 16 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市情報公開条例、池田市個人情報保護条例

2 事業費等

区分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		79		175		171		205		97.7%
主な内訳	機器借上料	57		153		149		170		97.4%
	印刷製本費							13		-
	消耗品費	22		22		22		22		0.0%
人件費(人・千円)		0.90	6,180	0.80	5,400	0.80	5,280	1.00	5,880	100.0%
内訳	正職員	0.70	5,460	0.60	4,680	0.60	4,560	0.60	4,440	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.20	720	0.20	720	0.20	720	0.40	1,440	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		6,259		5,575		5,451		6,085		97.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	189	159	7	3	0.0%				
	うち受益者負担 B	189	159	7	3	0.0%				
一般財源 C		6,070	5,416	5,444	6,082	100.5%				
一般財源比率 C÷A		97.0%		97.1%		99.9%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A		3.0%		2.9%		0.1%		0.0%		-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		情報公開手数料を受益者負担としている。主に市外の方から徴収している。平成27年度より、複写機等使用料を市民相談事業に充当								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	個人のプライバシーにあたる個人情報を取り扱うため。また案件ごとに開示・不開示等の判断が必要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	不服申立てがなかった割合	%	99.4	98.6	96.9	100	100	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	情報公開請求件数	件	300	86	154	-	-	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	個人情報開示請求件数	件	51	56	69	-	-	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		開示にあたっては担当課の協力を得ながら丁寧な説明を心がけており、開示請求者には概ね決定の内容について理解を得ているところ。不服申立てについては、すみやかに情報公開・個人情報保護審査会に諮り、公平・公正な答申をいただけるよう努めている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		27年度の不服申立て件数は7件。情報公開請求件数が前年に比べ増加したが、求める行政文書が存在しないことを通知文書で求められることが増えた。個人情報開示請求件数増加は、介護の関係で個人情報を取寄せる住民が増えているため。コストの多くを占める機器借上料は、2階の複写機分である。(平成26年度予算より、情報政策課から移行)。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)		<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成28年度への取組(平成27年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		年度によって情報公開の件数は変わるが、現状の体制、対応を維持していく。
現在抱える課題とその対策	課 題	情報公開請求に対する迅速な対応及び不開示部分の適切な判断。開示請求者に納得いただく説明
	対 策	行政文書の開示請求が出た場合、担当課の職員と共に対応し開示・非開示などについて明確な対応をとるとともに、担当課との意思疎通を十分に図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		情報公開制度の実施により、市民の知る権利を保障するとともに公正で開かれた市政を実現し、市民と市の信頼関係をより深めることができる。

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室 秘書課	担当課長名	高木 勝治
(※)第2期実施計画の事業名	市政功労者表彰式、高額寄付者感謝状贈呈式	財務会計上の事業名	市政功労者表彰式、高額寄付者感謝状贈呈式
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	601	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち	
	節	第1節開かれた市政の推進	
	項目		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	その功を称え、表彰する。
事業の対象(誰を、何を)	①池田市表彰条例第3条、第4条、第5条、第6条及び第7条に規定する者及び団体 ②本市の市民または市民団体ならびに、本市にゆかりの深い個人または団体で、市政の発展に寄与したもののらびに様々な分野において特筆すべき功績のあったもの ③10万円相当以上の金員又は物品を寄附された方
事業の手段・方法(どのように)	市長が被表彰者に表彰状、き章及び記念品を贈呈する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市表彰条例及び施行規則

2 事業費等

区 分	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	H27/H26	
事業費(千円)	742	471	497	986	105.5%	
主な内訳					-	
					-	
人件費(人・千円)	0.28, 2,184	0.28, 2,184	0.38, 2,888	0.38, 2,812	135.7%	
内訳	正職員	0.28, 2,184	0.28, 2,184	0.38, 2,888	0.38, 2,812	135.7%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	2,926	2,655	3,385	3,798	127.5%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	2,926	2,655	3,385	3,798	127.5%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	受益者負担がないため。					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	コスト削減できる可能性もあるが、委託に要する手続きや効果等を鑑みると効果は少ないと思われる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市政功労者表彰式被表彰者	人	28	37	67		
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	高額寄附者	人	28	29	24		
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	目標を設定した事業ではなく、本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を示す場であるため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を示すことができる。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を表する機会として実施していく。
現在抱える課題とその対策	課 題 対 策
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を表する機会として実施していく。